

HOPE plus

[市立芦屋病院だより]



No. 4

新 病院長ごあいさつ

市立芦屋病院 病院長 小関 萬里



平成 21 年 9 月より、副病院長として市立芦屋病院に勤務してまいりました。この度、金山良男前病院長ご退任の後を受け、平成 25 年 4 月 1 日、病院長を拝命いたしました。宜しくお願ひいたします。昨年は、当院の開院 60 周年となる節目の年にあたり、念願の病棟新築が完成し併せて外来棟、管理棟のリニューアルも行うことが出来ました。これもひとえに地域住民、関係各位のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

市立芦屋病院の基本理念は「安全で良質な医療」を提供し、「地域社会に貢献する」ことであります。この基本理念実現には、第一にチーム医療の推進が必要です。チーム医療というと医師、看護師、薬剤師、検査技師などの医療者同士のチームを想像しがちですが、医療に対して満足し、信頼するのは患者さんである為、患者さんの参加なくしては良いチーム医療は出来ません。また、病棟新築に伴い、緩和ケア病棟の新設や消化器センター、人間ドックセンターを新たに設け、病院の機能向上に努力しているところでありますが、今後とも臨床指標をはじめとした各部門の評価指標を示すことにより、市民の皆様に信頼される病院であり続けたいと思っています。第二に地域医療機関との連携と救急医療が受けられます。病院機能分化が進む中、当院の役割である急性期医療を重視し、地域の医療機関よりご紹介いただくこと、当院の役割が果たせた時点で、転院や逆紹介が円滑に出来るよう地域医療機関との連携を進めていきたいと考えております。第三に優れた医療人の育成があります。医師の研修制度をはじめ、病院職員の教育は生涯教育であり、良い医療人を育てていくより良いシステムの構築をめざします。これは、安全で良質な医療の提供や地域社会に貢献することと密接に関連しており、健全な病院経営への道であると考えております。以上のこととが実現するよう、努力を重ねてゆきたいと考えております。

小関 萬里 病院長 略歴

出 身	青森県弘前市	専 閔 資 格	大 阪 大 学 臨 床 准 教 授
昭和 51 年	大阪大学医学部卒業	日本外科学会認定指導医	日本外科学会認定指導医
	大阪大学医学部第一外科勤務	日本消化器外科学会認定指導医	日本消化器外科学会認定指導医
昭和 53 年	大阪厚生年金病院外科勤務	日本消化器病学会認定医	日本消化器病学会認定医
昭和 56 年	大阪大学医学部第一外科勤務	日本肝臓学会専門医	日本肝臓学会専門医
昭和 60 年	香川医科大学第二外科助手	日本がん治療認定医機構暫定教育医	日本がん治療認定医機構暫定教育医
平成 4 年	米国ニューヨーク州立大学リサーチフェロー	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
平成 11 年	国立吳病院外科医長	消化器がん外科治療認定医	消化器がん外科治療認定医
平成 15 年	国立病院吳医療センター外科科長		
平成 16 年	独立行政法人国立病院機構吳医療センター・ 専 閔 分 野 中国がんセンター外科系診療部長	消化器外科、乳腺・内分泌外科	

今年も出店します! 芦屋さくらまつり2013

今年も芦屋病院は芦屋さくらまつりに出店しています。

日 時 平成25年4月6日(土)・7日(日)
両日とも 午前11時～午後8時 **場 所** 芦屋川東側道路
(大正橋～国道2号業平橋間)

出店内容 フランクフルト 1本：100円 ★芦屋病院の出店場所はルナ・ホール前です!!

ぜひ、会場へお越しの皆様は芦屋病院のブースにも遊びに来て下さい!

新任Drのご紹介



北川 泰生
キタガワ ヤスオ

専門分野 循環器内科

経歴紹介

昭和61年 3月 神戸大学医学部 卒業
同年 4月 神戸大学第一内科学教室 入局
同年 7月 神戸労災病院 勤務(研修医)
平成 5年 3月 神戸大学大学院医学研究科 卒業
同年 5月 淀川キリスト教病院 循環器内科医員 勤務
平成14年 4月 同 循環器内科 副部長
平成17年 4月 同 循環器内科 部長

資格 日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本循環器学会専門医
日本医師会認定産業医

趣味 ゴルフ、将棋、囲碁

先生から一言！

こんにちは。2013年4月から循環器内科医として赴任しました。心臓や血管などの循環器疾患の診断・治療に長く携わってきました。今までの経験を活かして市民の皆様の健康維持のお役にたてるよう努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



進藤 喜予
シンドウ キヨ

専門分野 緩和ケア

経歴紹介

平成2年 4月 大阪市立大学医学部 卒業
同年 6月 大阪市立医学部付属病院血液内科 入局
平成5年 4月 大阪市立十三市民病院内科 勤務(医長)
平成16年 4月 大阪市立北市民病院
緩和医療科 勤務(副部長)
平成22年 4月 大阪市立総合医療センター
緩和医療科 勤務(部長)
平成23年 3月 大阪市立総合医療センター 退職
平成23年 6月 あそかビーラクリニック 非常勤医
平成24年 4月 岐阜厚生連久美愛厚生病院
緩和ケアセンター 勤務(センター長)

資格 日本緩和医療学会 暫定指導医
日本内科学会認定内科医

趣味 ゴルフ、加圧トレーニング、読書

先生から一言！

4月から緩和ケア医として赴任しました進藤です。市立芦屋病院の緩和ケア病棟に足を踏み入れて最初に感じたことは、「静かに時間が流れている」ということです。これはおそらく、ここにいる全ての人が「いま」生きているからだと思います。緩和ケア病棟は、癒し癒され、共に生きる空間です。これからよろしくお願い申し上げます。



西本 哲郎
ニシモト テツオ

専門分野 内科

経歴紹介

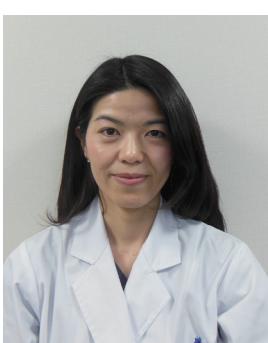
平成14年 3月 徳島大学医学部 卒業
平成14年 6月 大阪大学医学附属病院内科 研修医
平成15年 6月 市立芦屋病院内科 勤務
平成17年 6月 りんくう総合医療センター
市立泉佐野病院血液内科 勤務
平成21年 4月 NTT西日本大阪病院血液内科 勤務
平成22年10月 国家公務員共済組合連合会
六甲病院緩和ケア科 勤務

資格 日本内科学会認定内科医
日本血液学会認定血液専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医

趣味 こどもの写真撮影

先生から一言！

10年前に芦屋病院で勤務していたこともあって、故郷に戻ったような心境です。近年の医療の進歩は目覚ましいものがありますが、一方で がんにかかるしまう患者さんの割合が上昇しているという事実もあります。がんに対する治療を安心して受けられるお手伝いを、がん診療連携拠点病院と協力して行っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



松田 留美子
マツダ ルミコ

専門分野 麻酔科

経歴紹介

平成 9 年 4月 大阪大学医学部附属病院 研修医
その後大阪府立母子保健総合医療センター、関西労災病院、箕面市立病院、大阪府立急性期・総合医療センター等の麻酔科にて勤務し、現在に至る。

資格 麻酔科標榜医
日本麻酔科学会認定医・専門医
日本ペインクリニック学会所属

趣味 読書(最近は児童文学の古典的名作を読んでいます)

先生から一言！

市立芦屋病院には非常勤医師として勤務していましたが、この度常勤医師として勤務することになりました。手術を受けられる患者さんの安全を守るのが麻酔科医の第一の仕事です。市民病院として身近な存在でありながら、質の高い医療を提供できるよう、力を尽くしたいと思います。

ヤノ ユウゾウ
矢野 雄三

専門分野 糖尿病内科

経歴紹介

平成20年3月 兵庫医科大学卒業
 同年4月 兵庫医科大学病院勤務
 平成22年4~6月 兵庫医科大学病院内科学糖尿病科より
 市立芦屋病院に派遣勤務
 平成23年4月 大阪中央病院勤務

資格 日本内科学会認定内科医

趣味 食べ歩き、ランニング

先生から一言！

こんにちは、4月から赴任しました矢野です。3年ほど前にもしばらく芦屋病院に勤務したことがあるのですが、今回は常勤の医師として勤務することになりました。糖尿病を始めとした生活習慣病、その他にも内科一般の様々な病気に対して頑張って治療して行こうと思っていますので、よろしくお願いします。

新任技師のご紹介

アオキ ハジメ
青木 一

平成25年4月1日付で放射線科技師長として赴任してまいりました青木一(あおきはじめ)です。
 よろしくお願いします。

大阪大学医療技術短期大学部診療放射線学科を平成6年に卒業し、生まれ故郷である姫路の一般病院に勤務したのち、神戸大学医学部附属病院に18年間お世話になりました。

大学病院では、レントゲン撮影、CT、MRI、血管撮影、放射線治療、核医学検査など様々な業務を行つてきました。

大学病院で学んだノウハウを生かして、より安全な検査を提供できればと思っています。
 医療における放射線の疑問・質問などがあればお気軽にご相談ください。

今年は5人の医師と技師が新しい芦屋病院のスタッフとして加わりました。

グランドオープンを迎えるにあたり、さらに安全・安心の高度な医療が提供できるよう努めてまいりますので宜しくお願い致します。

がん看護専門看護師のご紹介

ミヤタケ カナエ
宮武 佳菜枝

はじめまして、がん看護専門看護師の宮武佳菜枝です。

専門看護師とは、日本看護協会認定のある専門分野で特定の知識と技術を深め、個人、家族および集団に対する卓越した看護実践により水準の高い看護ケアを提供する看護師のことをいいます。ここでは、がん看護専門看護師の活動についてご紹介させていただきたいと思います。

がん看護専門看護師は、専門的な知識をもとに、がん患者さんやご家族が直面する“治療による副作用のつらさ”、“苦痛な症状”、“気持ちのつらさ”、“治療の選択”、“療養の場の選択”など療養中におこるさまざまな不安や心配、悩みに対しサポートさせていただきます。また、困難な事例を抱えた看護師にアドバイスを行うなど、医療スタッフへの教育やサポートもおこないます。

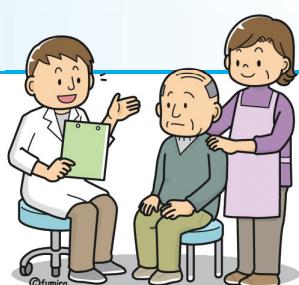
他の医療スタッフと連携しながら、がん患者さんやご家族が病気を抱えながらも“その人らしい生活”を過ごせるよう、お手伝いさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

整形外科よりお知らせ

これまで、毎週木曜日は手術日の為、外来診療を行っておりませんでしたが、4月より非常勤医師による外来診療を再開することになりました。今後は毎日外来診療を行っておりま

すので、リハビリ治療を受けられている方も木曜日に受診して頂けるようになります。

※当院の整形外科は変形関節症などの関節治療から腰痛や骨折、骨粗しょう症など一般的な整形外科疾患、リハビリテーションを担当しています。



今年度は「芦屋病院がん特集」と題して当院におけるがんへの様々な取り組みについて4回にわたってご紹介します。ぜひ皆さんには当院で受ける事ができる治療や、チーム医療の取組みについて知って頂きたいと思います。

化学療法について

血液・腫瘍内科

芦屋病院の血液・腫瘍内科は4月より新メンバーも加わりより充実した体制の下でがん診療に携わっていきます。

がん化学療法の進歩はめざましく、毎年新たな抗がん剤、分子標的薬が開発されています。治療成績も、特に進行期の症例では飛躍的に向上しています。さらに鎮痛剤・吐き気止めなど薬（がん支持療法）の進歩も目覚しくがんに伴う症状も以前にくらべてコントロール良好となっていました。このため従来、化学療法といえば嘔吐や疼痛などがんに伴う症状のためかなり暗いイメージでしたが、抗がん剤や支持療法の発達に伴い特に進行期の患者さんにおいても生活の質（QOL）は以前に比べて向上してきました。市立芦屋病院血液・腫瘍内科では血液専門医あるいはがん薬物療法専門医からなる専門医師とがん化学療法の認定看護師による治療チームにより最新のがん化学療法を提供するとともに、緩和ケアの技術・マインドを積極的に取り入れてがん患者さんの治療に携わっています。そのため他院では疼痛やがんに伴う症状のため積極的な化学療法を中止し緩和ケアの治療に専念するように勧められた患者さんも当院では十分な疼痛管理の下、引き続き化学療法を継続あるいは再開された患者さんが多数おられます。当科では「最適な支持療法による快適な生活のもとで、最高の化学療法を受けられるように」をめざし、「がん治療と緩和ケアのベストミックスをめざして」を合言葉にがん治療に携わっています。がん化学療法がつらいなと思われれば是非、当院の血液・腫瘍内科に受診してください。

手術について

外科

当科では、胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、食道がん、肝臓がん、脾臓がん、胆道がんなどの手術治療を行っています。特に症例数の多い疾患は胃がん、大腸がん、乳がんであり、胃がん、大腸がん症例は80歳を超える高齢者の患者さんも多いです。近年の手術技術や麻酔の進歩によりこのような患者さんもほとんどが合併症なく手術が可能となっています。特に当科では早くから腹腔鏡手術（お腹を切らない手術）を行っており、患者さんへの負担軽減に貢献しています。また近年罹患率の増加している乳がんは病院をあげてピンクリボン運動を推進しており、マンモグラフィなどの乳がん検診を市民に推奨するなどの啓蒙活動を行うことにより検診率を増加させ、その検診にて早期乳がんを発見される患者さんも増えています。手術は乳房温存手術がほとんどであり、体への負担が小さい手術を行っています。

早期がんなら 内視鏡で

消化器内科

消化器内科ではがんに対する正確な診断と低侵襲治療（からだへの負担が小さい治療）をモットーに、外科と密接な連携のもと診療にあたっています。がんに関する主な診療内容は以下のとおりです。

1. 消化管がん: 食道・胃・大腸の早期がんに対して拡大内視鏡、特殊光観察による診察を行い、粘膜下層剥離術: ESD、粘膜切除術: EMRなどの治療を行います。進行がんに対する化学療法および内視鏡治療（ステント挿入術、減圧目的の胃瘻造設術）なども実施しています。
2. 肝胆脾がん: 肝臓がんの診断と治療（肝腫瘍生検、ラジオ波焼灼術、アルコール注入療法、肝動脈化学塞栓療法、分子標的薬による治療）、胆管がんの診断と治療（ERCP検査、胆管狭窄に対するステント挿入術、化学療法）など。さらに胃がん撲滅を目指して、胃がんリスク検診（ABC検診）やピロリ除菌治療にも積極的に取り組んでいます。

女性特有の がんは

産婦人科

産婦人科が取り扱うがんは、主に子宮がんと卵巣がんです。

子宮がんには、子宮の入り口にできる子宮頸がんと子宮の奥にできる子宮体がんがあります。子宮頸がんと子宮体がんは、腫瘍のできる場所だけでなく成因が異なります。子宮頸がんの原因はウイルス（ヒトパピローマウイルス）感染で、若年化が問題となっていますが、ワクチン接種により約7割は予防できます。子宮体がんの原因はわかっていないが、ホルモン状態（高エストロゲン状態）など起こりやすい因子は分かっています。子宮体がんは増加してきているので、長引く不正出血や更年期から閉経期の不正出血には注意が必要です。卵巣がんも、本邦では最近増えてきています。しかし、症状が出にくいため発見が遅くなりがちです。検診が有効であるというエビデンスはありませんが、お腹が急に張ったり痛みがある場合には早めに受診してください。

芦屋病院 がん特集 Vol.1

今回のVol.1では芦屋病院でできる「がんの治療」について、そしてこの4月より24床オープンとなる緩和ケアについてご紹介します。



日常生活を サポート

リハビリテーション科

当院リハビリテーション科は理学療法士3名、言語聴覚士1名が在職しています。がんリハビリとしては、乳がん術後の肩関節の関節可動域訓練や胃がん・大腸がん等の開腹術後の廃用（安静や不活動による関節可動域制限や筋力低下がおこること）の予防を目的に実施しています。



また、化学療法にて体力が低下した方や、緩和ケア病棟に入院中の方にも医師の指示のもと実施しています。今後も、がん患者さんの生活の質向上に貢献し、退院後スムーズに日常生活に復帰していくだけるよう支援ていきます。

お薬のことなら

薬剤科

抗がん剤による治療は、患者さんごとに投与量が異なります。患者さんの身長、体重、血液検査を含む体調などで投与量を決定します。しかし、抗がん剤の中には光に弱かったり、長時間保存するとその効力が失われていくものもあります。当院では、抗がん剤を患者さんのベッドサイドで調整しています。これは患者さんからどんな相談でもしていただきやすい環境作りということと、出来立てのお薬をご使用いただくという2つの目的で行っています。

また、痛みは治療の妨げになりますので、痛みの治療も抗がん剤治療と並行して行います。できるだけ普段と同じ生活ができるような抗がん剤治療を目指していますので、食欲がない、だるい、気分が沈むなど、どんなことでも薬剤師にご相談いただければと思います。

24床 フルオープン!

緩和ケア

当院に緩和ケア病棟が開設され、早や10カ月が経ちました。緩和ケア病棟での治療・ケアは、症状を和らげることもそうですが、あくまで「その方が残された時間をどのように過したいか」という目標と一緒に悩み、「希望」を最後まで支え続けることに重点を置いています。少しでもその方の「希望」に近づけるようしっかりと、苦痛症状のコントロール・ケアを提供していきたいと考えています。

緩和ケア病棟はこれまで医師1名、10床で運用していましたが、4月より医師2名になり24床で運用しています。今まで以上に、がんを患っている地域の皆様が安心して過ごせるよう支援をしていきたいと思います。



花粉の季節とアレルギー

小児科 安部 信吾

この号が出る頃は、きっとスギ花粉の飛び方がピークを迎えていることでしょう。芦屋の北部は六甲山系に属しています。スギ・ヒノキ・オオバヤシャブシなどの花粉が次々と放たれ、風に乗ってやってくる季節です。

花粉と聞くと「花粉症」を思い浮かべますね。花粉症は「アレルギー性鼻炎」の一種です。鼻から空気を吸うと、のどを通って気管支・肺へ届きます。この空気の通り道は、鼻からのどまでが上気道、のどから先は下気道と分けて呼ばれており、アレルギー性鼻炎は上気道の病気、気管支喘息は下気道の病気、ということになります。

実はアレルギー性鼻炎と気管支喘息の間には深い関係があります。今から約10年前にone airway, one disease (一つの気道、一つの病気) という考え方方が提唱されました。つまり、上気道も下気道も一つのつながった空気の通り道だから、アレルギー性鼻炎と気管支喘息を同様の病気として総合的に対応するべき、というものです。喘息の患者さんの7~8割にはアレルギー性鼻炎があると言われています。花粉の飛ぶ時期に発作が出る、という喘息の患者さんは、全体の約1/3とする報告もあります。この季節に息苦しい、咳が止まらないという症状があるとき、アレルギー性鼻炎のことでも頭の片隅に置いておくといいかもしれません。



春の公開講座のご案内

毎回、たくさんの方にご来場いただく公開講座、今年度も内容盛りだくさんでお届けします。

講座は専門的な内容を分かりやすく、時には笑いもあり、あつという間に時間が過ぎていきます。講座の後には質問タイムがあり、日頃疑問に思っていることをじっくり聞ける機会もあります。暖かくなったこの季節、ぜひ公開講座へお越し下さい。一緒に楽しく学びませんか?

公開講座の申込方法について

申込方法 ①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入の上、4月17日(水)までにハガキもしくはFAXで公民館までお申し込みください。

あて先 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 公民館
TEL: 0797-35-0700 FAX: 0797-31-4998

場所 芦屋市民センター401号室



時間 午後2時~午後3時30分

問い合わせ先 芦屋市立公民館(☎0797-35-0700)

受講料 800円(6回分) 1回だけ受講の方は200円

日程	内容	講師
4月27日(土)	市立芦屋病院 “60歳からの出発”	病院長: 小関萬里
5月11日(土)	専門・認定看護師の役割 ①がん患者さんとその家族に知っておいてほしいこと ②その人らしさを支える緩和ケア ③その人らしい生活を送るために～病院と地域の連携を通して～	①がん看護専門看護師: 宮武佳菜枝 ②緩和ケア認定看護師: 榮元由香 ③訪問看護認定看護師: 陰山美穂子
6月8日(土)	がん専門医と認定看護師のかかわり ①分子標的療法～血液疾患を中心～ ②血液疾患に使用される分子標的薬の副作用コントロール	①血液・腫瘍内科 部長: 白鹿正通 ②がん化学療法看護認定看護師: 川口冴子

地域医療まもり隊～開業医の先生紹介～

大谷整形外科 眼科 大谷 卓弘 先生



JR芦屋駅前ラポルテ北館2階で平成6年に整形外科・リウマチ科医院を開設し、その後平成15年に眼科を併設いたしました。

医師二人で、整形外科と眼科の診療を並行して行っていますので、同時に二科受診される患者様も多く、「便利で良い」と喜んで頂いています。

東洋医学的アプローチも積極的に取り入れており、漢方処方を希望して遠方から受診してくださる患者様もいらっしゃいます。

芦屋病院には、平素から検査や手術の依頼に迅速かつ適切に対応して頂き、また、必ず丁寧な経過報告を頂いて、大変感謝しております。

当院の北向きの広い窓からは、市民病院のある朝日ヶ丘の緑が鮮やかに見えます。見上げるたび、市民病院は山の上から市内の医療機関を見守ってくれているような存在だと感じています。

これからも、頼れる市民病院との連携を深め、地域医療の一端を担って参りたいと考えています。

4月

院内の催し・各教室のご案内

糖尿病教室

日 時 4月12日(金)13時30分～15時

場 所 2階病棟 講堂

内 容 糖尿病の治療・療養について

料 金 無 料



芦屋病院 マチネーコンサート

日 時 4月21日(日)14時30分～

場 所 外来ホール 黄色いピアノ前

出演者 岡本 複晃(サクソフォン)、田中 奈津紀(ピアノ)

内 容 サックスとピアノによる演奏



両親学級

日 時 4月13日(土) 10時～12時 場 所 3階東病棟

内 容 お産の経過・赤ちゃんのお風呂

対 象 妊娠22週以降の妊婦とパートナー・5組

問い合わせ 産婦人科外来(電話は13時～16時)

医療よろず相談

日 時 毎週火曜日 10時～12時

場 所 市役所南館1階 エレベーター横

内 容 芦屋病院看護師による医療よろず相談(相談無料・秘密厳守)

問い合わせ 看護局

新・外来駐車場をご利用ください!

来院される皆様に大変ご不便をお掛けしました駐車場整備工事が完了し、3月末より南側、北側合わせて約200台の駐車場が全面利用可能となりました。

今回の改修により南側には地下駐車場が完成し、雨の日も快適に受診することができます。ぜひ、新しくなった駐車場をご利用下さい。

芦屋病院駐車料金のお知らせ

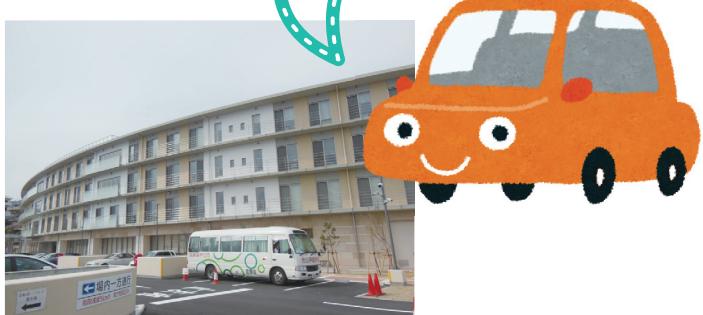
最初の30分無料、以後30分ごとに100円
1日最大1,600円

外来受診の患者さんや入退院の送迎の方は2時間まで駐車料金が無料となっています。
会計窓口で駐車券をお出し下さい。

駐車券をお持ちください!

駐車料金の無料化は外来棟3階の受付窓口及び病棟1階の受付カウンターにて行っています。

駐車券は車の中に置いたままにせず、必ず一緒に院内へお持ちください。



事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

春の訪れ

春の兆しを感じさせる鳴き声の持ち主、ウグイスの別名は春告鳥(はるづげどり)ですが、実際には2月の季語で、この時期はまだ春を実感できません。関西では、やはり「お水取りが済まないと春が来ない」ようで、奈良・東大寺で行われる一連の修二会(しゅにえ)行事が終わる3月中旬に、名実ともに春の訪れを体感できます。

同じ3月中旬、3月17日にアメリカではセントパトリックスデー(St Patrick's Day)のお祝いが各地で行われ、ニューヨークでは最大のパレードが開催されます。聖パトリックは4世紀のアイルランドにキリスト教を布教したパトリキウス(Patricius)の英語名で、アイルランドの守護聖人として讃えられ、この日は彼の命日です。本国に負けないパレードがアメリカで行われるのは、アイルランド系移民が多いからでしょう。ナショナル・カラーであるグリーンを強調したパレードも盛観ですが、緑色のビールまで供されるのにはびっくりします。シカゴでは流れる川まで緑に染めるそうです。この日は信教の有無を問わず、緑色の品を身につける習慣で、私も緑のセーターを着込んでパレードを見物しました。セントパトリックスデーはイースター(復活祭)とともにキリスト教徒には春の訪れを感じさせるお祭りのように思います。

私はアイルランドに行ったこともなく、アイリッシュコーヒーかアイリッシュセーターくらいしかなじみはありません。アメリカの小説などを読むと、アイルランド人は頑固、偏屈、田舎者などのイメージで描かれることが多く、決して文化的に尊敬されているように思えません。アイルランドはイギリスの植民地支配を受けた農業国で、19世紀半ばの大飢饉から多数の移民が生活のためアメリカを目指したせいもあるのでしょうか。この時代の首都ダブリンのホテルを舞台に、ウェイトレスならぬウェイターを勤めた女性を主人公とするフィクション映画が「アルバート氏の人生(原題Albert Nobbs)」です。主演のグレン・クローズ(Glenn Close)は本作の映画化を30年間あたためて、制作・脚本にも参加しています。物語は生きていくために男性を装って職につかざるを得なかつたアルバート・ノップスの半生を、多くの芸達者な

脇役とともに緻密に描写しています。

生活のために余儀なく男装したアルバートですが、同僚のチャーミングなメイド、ヘレンとの結婚を夢想するようになります。爪に火を灯して蓄えたお金なのに、新生活を夢見て彼女に貢ぎます。独りよがりな思いこみは、現代でもストーカー行為として糾弾されますが、同性間ですからより複雑です。変装として始まったアルバートの異性装であって、決して性的興奮を求めるフェティシズム服装倒錯症ではなかったのですが、永年の男性を装った生活が彼女に性同一性障害を起こさせたのかも知れません。いずれにしろ19世紀のヨーロッパ社会の仕組みが生んだ悲劇を描き、観客を考え込ませる名作でした。

性同一性障害は、近年わが国でも認知されるようになった症状です。しかし、その実態、原因についてはまだ未だ未知の部分も多いようです。日本での治療は、日本精神神経学会のガイドラインに沿って、精神科領域の治療と身体的治療が行われますが、そもそも根本的治療になるかどうか疑問です。「アルバート氏の人生」にみるように、社会的要因も考慮する必要があるでしょう。高度文明社会にあって、こころ(精神)とからだ(身体)の関係はますます複雑化する一方です。



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



交通案内

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

タクシー 約5分

バス 約15分
JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番

徒歩 約30分
上宮川駅 下り 国道2号線

編集後記

外来駐車場、病院周辺の緑化工事、公園整備が完了しすべての工事が終了しました。

いよいよグランドオープン！新生 芦屋病院のスタートです。
これからもご支援宜しくお願い致します。



日本病院機能評価機構 認定施設(ver.6.0)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>